

高齢者施設・障害者施設の 感染対策事例集

講習動画 ゾーニング

東京iCDC専門家ボード
感染制御チーム

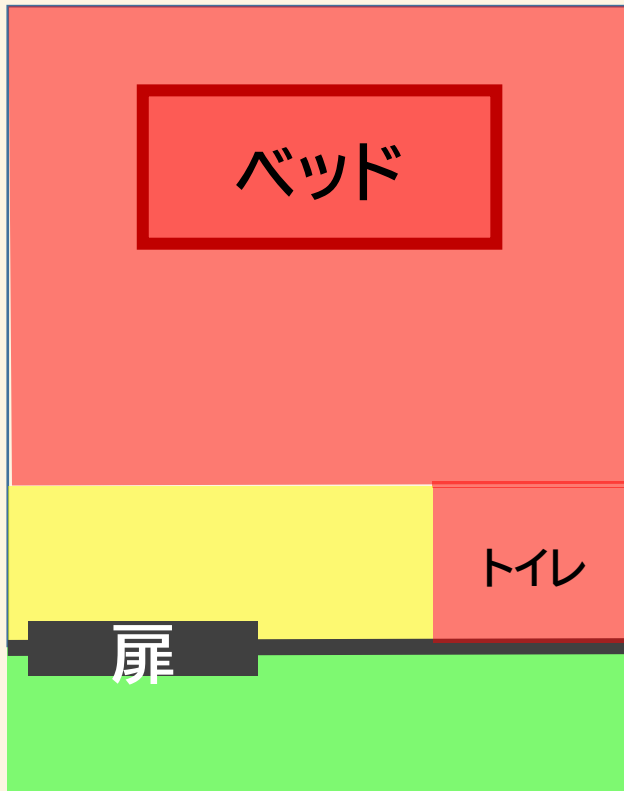
東京医療保健大学大学院
菅原 えりさ 先生



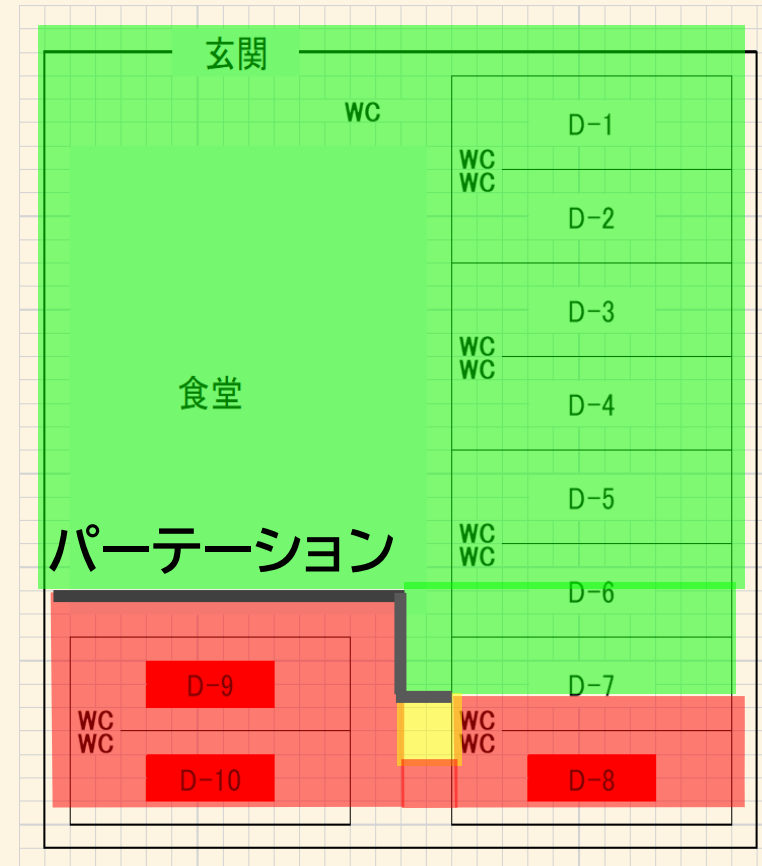
ゾーニングの考え方

ゾーニング：病原菌やウイルスの存在するエリアとそうでないエリアを分けること。
明確に分けることで不用意な立ち入りを制限する。

居室でのゾーニング



区域隔離のゾーニング



ウイルスが
存在

ウイルスが存
在する可能性
がある

ウイルスが
存在しない

ゾーニングをする際は、区域を明確に分けます

✕ 間違った事例



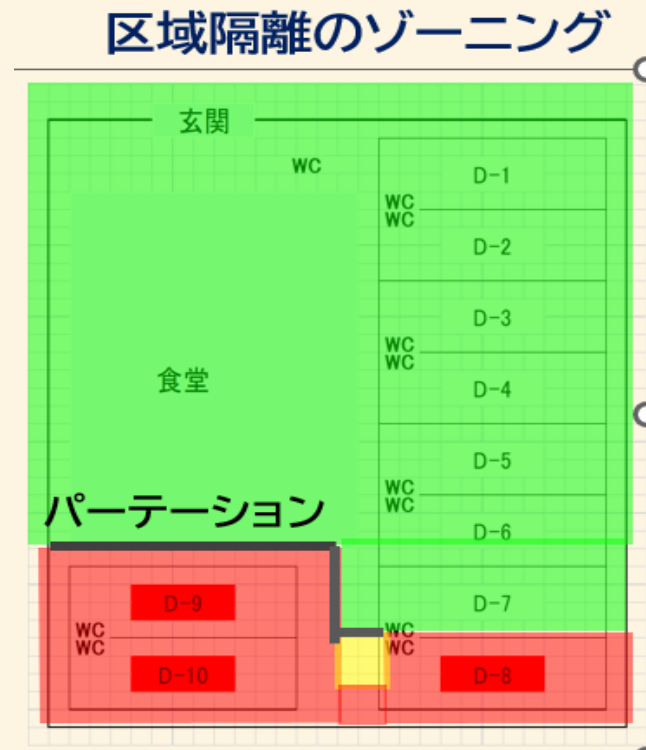
PPE着用職員とそうでない職員が接触・・・

フロア全部をレッドゾーンとし、ステーションでもPPE(個人防護具)を着用している。
また、同じエリアでPPEを着用している職員もいれば、着用していない職員もいる。

○ 正しい事例

ゾーニングは感染者がいるレッドゾーンと感染者がいないグリーンゾーンを明確に区別することが必要。

解説！ ゾーニングをする際は、区域を明確に分けます



グリーンゾーン：入所者が立ち入らないスタッフルームなど

レッドゾーン：可能な範囲で狭く設定

- ・ スタッフの意識の切替えがしやすい（リスクを伴うケアに対する）
- ・ PPE着脱手順を含む業務も明確となる
- ・ そのことが職員の業務負担軽減につながり、職員の安全を保つことになる。

ゾーニングをする際は、区域を明確に分けます

補足事例



グリーンゾーンには、使用済のPPEを持ち込んではいけません。

PPEは、脱衣後その場で廃棄物ボックスに入れます。



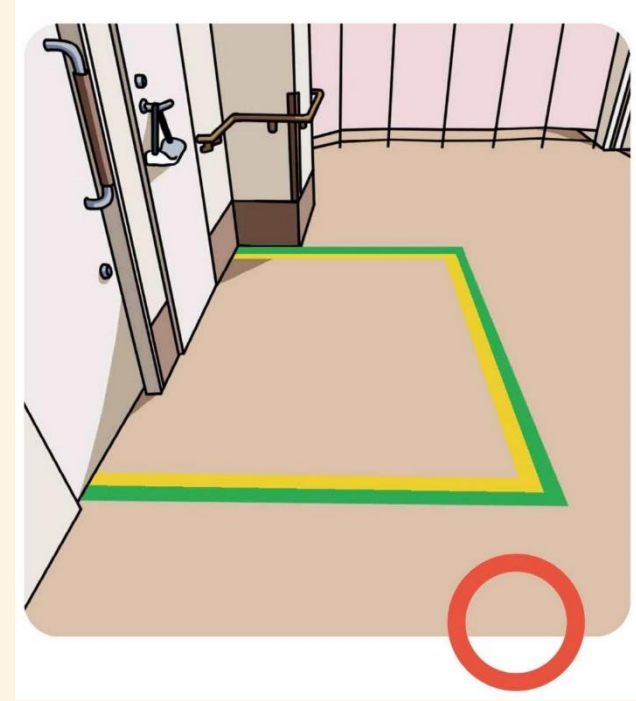
PPEはイエローゾーンで脱ぎます。

ゾーニングの仕切り方に注意しましょう



✕ 間違った事例

ゾーニングの境界をビニールカーテンで区切っているため、カーテンを持ち上げて出入している。

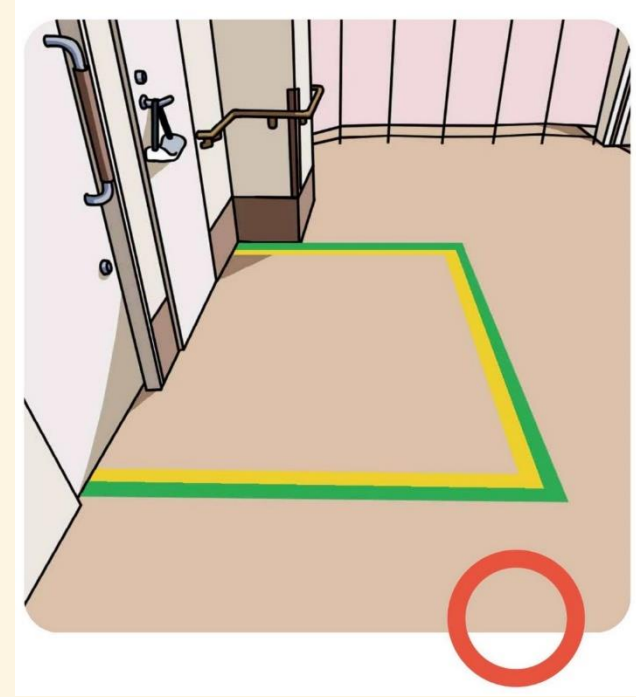
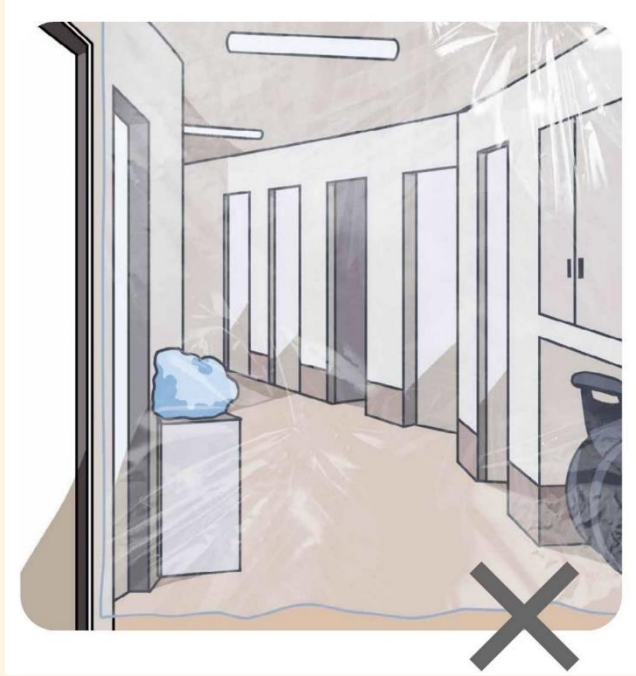


○ 正しい事例

養生テープのラインや、消毒可能なパーテーションでゾーニングを行う。

解説！

ゾーニングの仕切り方に注意しましょう



- ゾーニングエリアに不用意に立ち入らないよう、分かりやすく表示すること。
- ただし、広いエリア仕切る場合、消毒可能な衝立を選ぶ。
- また、仕切りは床にラインを引くことも可能。
- さらに、部屋ごとにゾーニングする場合は、ドアに「レッドゾーン」や「隔離中」などを明確に示す。

感染症が疑われる利用者の洗面台の利用には注意しましょう



× 間違った事例

感染症が疑われる利用者（有症状者）とそうでない利用者が、洗面所を同時に並んで利用している。

○ 正しい事例

感染症が疑われる利用者（有症状者）は、他の利用者と一緒に洗面台を使わないようにします。

解説！感染症が疑われる利用者の洗面台の利用には注意しましょう

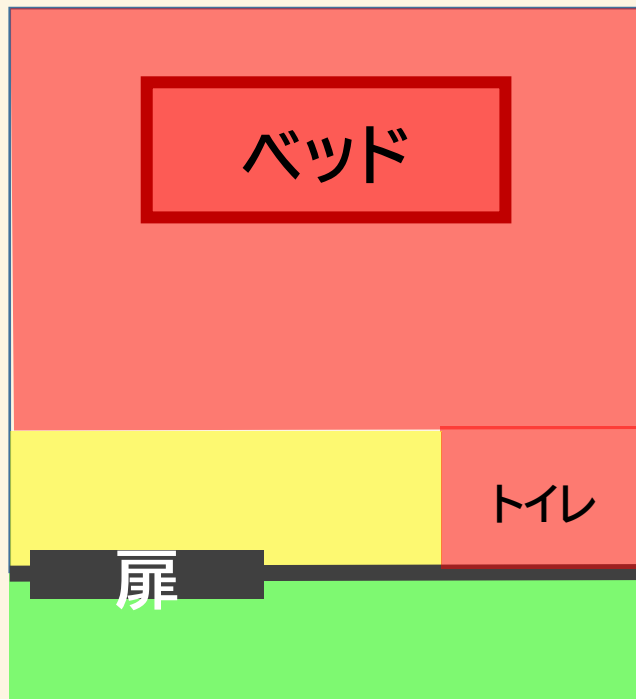


- 有症状者の自室に洗面台がある場合はそれを使用し、共用の洗面台は使用しない。
- 共用洗面台しかない場合は、先に無症状者が洗面所を使用し、その後有症状者が使用する(時間的隔離)
- 有症状者の洗面台使用後は、消毒したうえで、通常の使用に戻す。

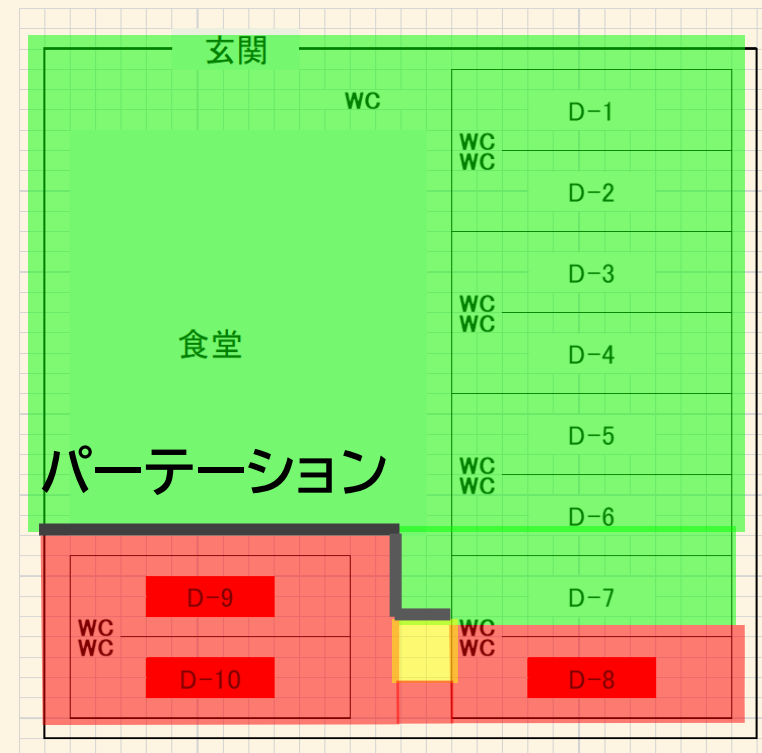
まとめ

- 平時より、自施設のゾーニングのあり方をシミュレートすることが重要

居室でのゾーニング



区域隔離のゾーニング



ウイルスが
存在

ウイルスが存
在する可能性
がある

ウイルスが
存在しない